

の方法で流れ着いたものが繁殖するが長くは続かず、消えてしまうことを繰り返しているのかも知れない。

モメンヅルはカラフトモメンヅルに比べ個体が大きいが、個体数は少ない印象である。モメンヅルは北海道レッドデータブックで希少種 (R)、カラフトモメンヅルは環境省レッドデータブックで絶滅危惧Ⅱ類 (VU)、北海道レッドデータブックで希少種 (R) であるが、今回の調査でもモ

メンヅルの個体数は多いとは思えなかった。指定基準には個体数以外の要素もあるが、現時点の分布状況からランクの指定は再検討を要すると考えられ、筆者としてはモメンヅル、カラフトモメンヅルともに環境省レッドデータブック絶滅危惧Ⅱ類 (VU)、北海道レッドデータブック絶滅危惧種 (Vu) に変更することを提案したい。

(北海道野生植物研究所)

コラム②

北海道大学総合博物館陸上植物標本庫(SAPS)への植物標本の寄贈の状況(報告)

仮称「北海道植物誌」の編纂に向けての準備として、2016年にSAPSに收容されていない北海道産植物を標本用に採取していただくようご協力を会員の皆さんに要請していたところですので、お蔭さまで標本が集まりつつあるところですので、要請後これまで標本の寄贈に協力して頂いた会員の皆さんをお知らせします。

寄贈標本点数は未收容種56種を含め、500点を超えています。ご協力ありがと

うございます、今後も宜しくお願い致します。

寄贈者

天崎比良子、五十嵐博、上松恵美子、酒井信、佐々木純一、嶋崎太郎、清水和男、新田紀敏、林廣志、藤田玲、細川音治、本多丘人、松下和江、若松久仁男

五十音順、敬称省略

(吉中 弘介)